

【重点分野の目標の達成状況】

- ①海外からの環境技術視察・研修の受入人数：現状（2009年度 1,143人）より増やすこと ⇒842人
- ②環境に係る国際会議・イベント等実施状況 ⇒川崎国際環境技術展等の実施
- ③環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究の件数と実施内容 ⇒共同研究7件（実施内容は下記参照）

【海外からの環境技術視察・研修受入状況】

- ・海外から842人（エコタウン施設617人・エコタウン施設以外225人）の視察がありました。
- ・公害監視センターでは3カ国23人の視察があり、公害研究所ではJICA研修生10人を受入れました。
- ・第14期瀋陽市環境技術研修生として、中国・瀋陽市から1人の研修生を受入れました。
- ・中国・上海浦東新区への企業ミッション団・環境行政職員の派遣と上海環境技術研修生（2人）の受入を行いました。
- ・中国、韓国、ベトナム、タイ、マレーシア等から環境保護の対策、循環活用システム等、先端的な取り組み現場を学ぶことを目的にエコタウン施設の視察に訪れています。

【環境に係る国際会議・イベントの実施状況】

＜川崎国際環境技術展2012の開催＞

川崎国際環境技術展では、本市の優れた環境技術・製品を展示（136団体（226ブース））が出展することにより、環境分野での国際的なマッチングを実施し、環境技術の移転による国際貢献・産業の活性化を推進しています。

中国・韓国等の海外からの約184人の来場を含め2日間で合計13,500人が来場しました。

＜アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催＞



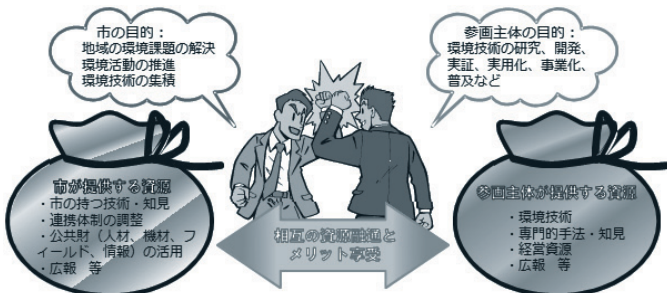
【川崎国際環境技術展】

【環境技術開発に向けた事業者、大学、研究機関等との連携による共同研究実施状況】

- ・炭素繊維による閉鎖性水域の水質浄化工法の研究
- ・川崎市の地域特性を活かしたスマートシティモデル事業検討～エネルギー・環境性能の可視化技術～
- ・光学レンズとLEDを用いた低光害高効率照明の研究
- ・クラウドコンピューティングにおける環境情報サイクルの構築に向けた実証研究
- ・振動発電技術による未利用エネルギーの活用及び「見える化」の効果的手法に関する研究
- ・環境教育実践・施設・環境人材等の環境資源の有機的連携のための俯瞰的マップづくり
- ・南河原こども文化センターにおける地中熱利用空調システムの実証研究

【環境技術をテーマにした市との共同研究】

環境技術産学公民連携事業は、産学公民連携による環境技術開発等の共同推進体制を構築するための研究事業です。市は、各主体に対して環境研究の場の提供や環境技術開発等の契機創出を行うことで環境技術等の研究・開発を支援し、成果を地域社会に還元するとともに、環境技術・環境研究の集積につなげることを目指しています。



←南河原こども文化センターでの地中熱利用空調システム開発研究



→等々力緑地釣池での炭素繊維による水質浄化工法の研究